

文法訳読式授業再考

— 検定教科書の活用を目指して —

外国語科 千澤 奈緒子

平成21年度に本校に赴任し2年余りの月日が経過したが、それまで20年勤務した県立学校との様々な違いに、今なおとまどうことも多い。とりわけ、日々の授業は想像していた以上に負担が大きく、悪戦苦闘の毎日である。今年度、赴任後初めて検定教科書の授業を担当することになり、20年間漫然と行ってきた文法訳読式の授業を見直す好機と考えた。本稿は、4月からの授業実践の報告である。

キーワード：文法訳読 検定教科書

1. はじめに

金沢大学附属高校とは2度目の縁になる。大学3年時に教育実習生として2週間を過ごしたのが最初で、それから20年以上の時を経て、今度は教員として赴任することとなった。以来、自己研鑽の場として最高の環境を与えられたと自らに言い聞かせ、まさしく授業と『格闘』する日々を送っている。3年目を迎えて久しぶりに検定教科書の授業をすることになり、教科書選定、シラバス作成、授業展開や指導法について考える、といった過程で、自分はこれまで検定教科書を十分に活用していたと言えるのだろうか、という疑問が生じてきた。検定教科書の授業を担当すると、指導書を始めた教授資料が比較的充実している。教員として採用された頃にはカセットテープ1～2本程度であった音声教材も、今や生徒用でCD2枚組、教師用に至ってはCD4枚組という充実ぶりである。

一方、これまでの自分の授業スタイルを振り返ってみると、その豊富な教授資料を十分に活用していたとは言い難い。1つの学年を複数の人間で担当することが多い大規模校での経験しかなく、授業進度を合わせることに気をとられて生徒にさまざまな活動をさせる余裕がなかった。CDを聞く、単語の発

音練習や音読をする、という語学には不可欠の活動も時間のある時だけ。また、定期考査が学年で共通問題である場合には、自分が授業を担当しているクラスの生徒が不利にならないよう、教科書本文は全て和訳して書き取らせ、詳細な文法説明を行った。授業中の生徒の活動はもっぱら黒板を写すこと。忘れた頃に指名され、うつむいてか細い声で英文を読み上げ、さらに小さな声で和訳をする。書き写してそれを覚えてくるとテストで点数がとれる、と思っているのか、ほとんどの生徒が一生懸命ノートをとっている。語学の授業とはほど遠い授業を20年間ずっと行ってきたが、赴任した年に担当した2年生のサイドリーダーの授業をする中で、自分のやり方が全く通用しない事を痛感し、今年度英語Iの授業を担当することに決まって以来の取り組みを以下にまとめた。

2. 使用教材とその扱い

①検定教科書

『改訂版POLESTAR English Course I (数研出版)』を使用している。本校の生徒にとってはやや易しいかとも思われたが、教育実習生や自分にとって扱いやすく、補助教材が比較的充実している、と

いう点で採択を決定した。何種類かある補助教材のうち、生徒はワークブックだけを持っている。他にも補助教材として2種類の予習ノート（ベーシックノートとレッスンノート）が用意されている。いずれかを採択することも検討したが、内容を読み比べてみるとそれぞれに一長一短があり、甲乙つけがたいものがあつた。そこで、教授資料として購入した『スタディエイドシリーズデジタル教科書』で何ができるのかを検証してみたところ、教科書のデータはもとより予習ノートやワークブックのデータも全て網羅していて、それらを自在に組み合わせて教材を作成できるということがわかったため冊子の採択は見送り、言うなれば「いいとこ取り」をして授業展開に応じたハンドアウトを作成している。

ワークブックは定期考査毎、ハンドアウトは学期末に提出させて取り組み状況を確認している。

②週末課題

総合問題集『CROSSBEAM（エミル出版）』をシリーズで使用。教科書の授業では不足しがちな問題演習量を確保することを目的に、週末の時間を利用した自学自習用課題という位置づけで取り組ませている。事前にスケジュールを組んで、毎週月曜日（または火曜日）に提出させ、点検して返却している。このシリーズには、「入門編」から「総合・入試編」までレベル別に計7種類があり、入学前課題として「基礎編」（入門編の次のレベル）を課すところから始め、1学期に（1）総合・基本編を終了した。2学期には（2）総合・必修編を消化する予定でいる。2年生の2学期終了時には（5）総合・入試編を終了させ、本格的な大学入試問題演習の礎を築きたいと考えている。

③英単語小テスト

『コロケーションで覚える英単語（桐原書店）』を使用。語彙力増強は語学学習上の最重点項目の一つであると考え、授業冒頭に単語テストを実施している。開始当初は可能な限り毎時間実施したが、1学期末の授業評価の中で負担が大きいとの回答が想定

以上に寄せられた。それはきちんと学習した上で単語テストを受けたいという思いからくるものと解釈し、2学期以降は週1回ないし2回のペースに押さえて実施している。英単語テストを受けることを喜ぶ生徒はほとんどいないが、ペースを落としたことで、一定の理解は得られているようである。2学期途中で終了する予定であるが、出題範囲を少し広げて2巡目を実施し、2年次にはセンター試験を意識したリスニング演習に移行することを計画中である。

3. 授業展開

日頃の授業は概ね以下のような流れで行っている。

(1) Greeting

(2) Quiz（英単語小テスト） 資料3

15題を3分で解答。隣と交換し採点后（解答は板書する）回収。

平均点を10点満点に換算し、成績に加味。

(3) Text Reading

単語テストに時間をとられるため、1パートにつき2時間というやや遅めのペースだが、英語が苦手な生徒にはちょうど良いよう。

・新出語発音練習（CD&教師をリピート）

・本文視聴（CD）

・音読練習1 - sense group毎のchorus reading（教師をリピート）

音読練習2 - sentence毎のchorus

reading（教師をリピート）

・予習チェック+内容説明 **資料1**

本文をたどりながら、ハンドアウトに各自が予習してきたことを発問しながらチェックしてゆく。新出語句以外のポイント解説も併せて行う。

（このあたりで第1時終了）

文法上のキーセンテンスに再度戻り、和訳を確認（生徒に発問）したあと、必要に応じて文構造等の解説を行う。最後に日本語版要約を完成させる。教科書脚注部にある問い

(Attention Pointer) の答えを英語で書かせることもある。

(・時間があればCD再視聴)

・音読練習3 - buzz reading

※各自のペースで練習。その際、大きな声を出す必要はないが、口をしっかりと動かすよう声をかける。

・音読練習4 - shadowing-like reading

※教科書をどの程度参照するかは個人に委ね、CDを追いかけて読みさせる。

(4) Review exercise 資料2

・演習

True or FalseとQ and A (それぞれ4~5問) を5~7分程度の時間を与えて解答させる。(解答は英語で) 4~5分経過したところで、できている場合には周囲と見比べて、意見交換をするよう声をかける。

・解答チェック

授業の残り時間、Q and Aの難易度等を考慮し、発問しながら解答チェックを行う。

Q and Aも基本的には口頭でのチェックにとどめたいところだが、内容によっては書き取りきれないこともあり、板書を併用する事が多くなってきている。

(5) 次時の予告

・単語テストについて

次はいつ単語テストがあるのか日付を確認する、または次回の授業には単語テストがあるという念押しを行う。

・次回の授業に必要な準備(予習)について

・週末課題提出の確認(週の最後の授業)

4. 取り組みを通じて感じたこと

①ハンドアウト作成から見てきたこと

教師歴20年を超えるにもかかわらず、それが授業の中心となるハンドアウト作りは初めての経験である。前述のように「いいとこ取り」でオリジナリティ

にやや欠けるものではあるが、自分にとっては大きな一歩を踏み出せたと思っている。

ハンドアウトの利点はやはり、教師にとっては板書時間、生徒にとっては書写時間の短縮になることである。話を聞くことと和訳を書き取ること以外の活動をする時間的ゆとりが生まれ、これまで時間をかけられなかった音読や、復習を目的とした演習の時間を確保できるようになった。

一方、同じようなハンドアウトで同じような授業をしてしまいがちになるという問題点が浮かび上がってきた。今後は、教科書の題材内容も考慮した上で変化を持たせ、飽きない工夫をしてゆく必要があると感じている。

②英語で授業をすること

新教育課程実施目前となった現在、我々英語教師はこれを避けて通ることはもうできない。授業の際は、和訳も含め日本語を使う場面をいかに少なくすることができるか、を意識している。ところがこれまで初めてのことで、挨拶や指示の段階で止まってしまう、その一歩先へ進むことがなかなかできないのが現実である。

もちろん自らの英語力を向上させてゆく必要はあるが、読解力養成の観点から英文和訳では現れてこない事柄を問うたり説明したりする時には、日本語をあえて封印する必要があるのだろうか、との思いもある。

5. おわりに

ようやく軌道に乗りかけてきたかなという段階でこの先どうなることか不安が尽きない。週末課題の点検、提出の催促、単語テストの作成、点数管理といった事務的作業に追われる中で、ハンドアウト作りに試行錯誤する日々ではあるが、とにかく教科書としっかり向き合うこと、そして何よりも英文と向き合うことを怠らないようにこの取り組みを継続してゆきたい。また、そこから得たものを次年度以降の指導に活かしてゆけたらよいと考えている。

◆ Complete the summary.

1. 筆者は()のころ、()に興味を持つようになった。
2. 筆者はある日、()でシシュマレフという、アラスカにあるエスキモーの村の()を見つけた。そして、その住人とは()で、()を考えているのかと興味を覚えた。

AP 筆者は、写真を見て何を思ったか。Answer in English.

資料2 授業用ハンドアウト② (授業中の復習用) ※実際はB5版(縦)で作成

Lesson 6 part 1 REVIEW

A True or False?

- (1) The writer sometimes visited northern places when he was in his teens. ()
- (2) The writer was very interested in northern places like Hokkaido. ()
- (3) The writer knew why he loved the northern world. ()
- (4) Shishmaref is a little village in the middle of the vast Arctic wilderness. ()
- (5) The writer wanted to know what people living in the northern world were like. ()

B Answer in English.

- (1) What was the writer interested in when he was in his teens?
-
-

- (2) What kind of book caught the writer's eye in the bookstore in Tokyo?
-

- (3) What photo did the writer see inside the book?
-
-

- (4) What did the village look like to Hoshino?
-

第21回 大学入試 コロケーションで覚える英単語 p.248-259

年 組 番 名前

点数 点

[A] 日本語の意味に合うよう()内の語句を並べかえ、並べかえた部分だけ記入しなさい。

(1) 今月の売り上げは過去最高を記録した。

Sales this month have (peak / new / a / reached). (1) _____

[B] 日本語の意味に合うように、空所に入る単語を書きなさい。

(2) …のため遅れる

be () because of ... (2) _____

(3) …を…として解釈する

() sth as sth (3) _____

(4) 幼児虐待

child () (4) _____

(5) かなりの割合 [ごく一部] の…

a high/small () of ... (5) _____

(6) 計画を変える

() the plan (6) _____

(7) …の手続き

the () for ... (7) _____

(8) 〈人〉の観点から

from sb's () (8) _____

[C] 日本語の意味に合うように、英文の空所に入る単語を書きなさい。

(9) 現金で払うと少し割引があります。

There's a small discount if you pay () . (9) _____

(10) 彼は多くの若者を触発してスポーツを始める気にさせた。

He () many young people to take up the sport. * take up 「始める」
(10) _____

(11) 彼女はデービッドと一緒にだとすっかりくつろいだ気分だった。

She felt completely at () with David. (11) _____

(12) 総費用はこの2つの額の合計だ。

The total cost is the () of these two amounts.
(12) _____

(13) 刃が鋭いので気をつけて。

Be careful of the sharp () . (13) _____

(14) 噂に反して、彼らの関係はとてもよい。

In spite of rumors to the () , their relationship is very good.
(14) _____

(15) 彼女を説得して一緒に来てもらった。

We () her to come with us. (15) _____